

11月14日は世界糖尿病デー ホテルオークラ神戸も啓発運動に協力 トップライトをブルーにライトアップ

ホテルオークラ神戸(所在地:神戸市中央区、代表取締役社長:石垣聡)は、11月14日(火)の国際糖尿病連合(IDF)および世界保健機関(WHO)が定めた「世界糖尿病デー」に合わせ、11月13日(月)～15日(水)までホテルタワー棟のトップライトを糖尿病啓発のブルーにライトアップし、啓発運動に協力いたします。

世界糖尿病デーは、世界に広がる糖尿病の脅威に対応するために2006年12月20日国連総会会議にて、IDF(国際糖尿病連合)が提唱していた「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」が加盟国の全会一致で可決され、11月14日を世界糖尿病デーと制定。全世界レベルで糖尿病の脅威を社会的に周知し、その予防や対策に向けたキャンペーンを推進。日本でも糖尿病の予防と治療に対する啓発のための講演会をはじめ、糖尿病啓発のシンボルカラーにライトアップする「ブルーライトアップ」が実施されます。

兵庫県内では、当ホテルのほか、神戸ポートタワーや神戸市役所、明石海峡大橋、姫路城などがライトアップを実施いたします。詳細は以下の通り。



昨年の様子

■ ホテルオークラ神戸「世界糖尿病デーイン兵庫」ブルーライトアップ

日時/2017年11月13日(月)～15日(水) 6:00p.m.～11:30p.m.頃
点灯場所/ホテルオークラ神戸 タワートップ

「Hotel Okura」のロゴを青色にライトアップいたします。

■ 報道関係者の方のお問い合わせ

ホテルオークラ神戸 営業企画室 TEL. 078-333-3503 FAX. 078-333-3579
担当: 阿部慶浩 MB. 050-3681-2127、根岸晶子